

狛江市多摩川利活用実施計画 (平成 29～31 年度)

平成 29 年9月

狛江市

目 次

| | | |
|---|----------|----|
| 1 | 計画策定の目的 | 1 |
| 2 | 計画期間 | 1 |
| 3 | 計画のローリング | 1 |
| 4 | 計画の構成 | |
| | 事業一覧 | 2 |
| | 個別事業 | |
| | 3つの基本方針 | 5 |
| | 5つのゾーン | 13 |
| | その他 | 23 |
| | 完了した事業 | 24 |

1 計画策定の目的

市は、平成 26 年 8 月に、市の貴重な環境資源である多摩川河川敷を活用したまちづくりを推進するため、利活用の方向性を示す計画として『狛江市多摩川利活用基本計画』（平成 26～35 年度）（以下、「基本計画」という。）を策定しました。この基本計画で定めた方向性の具体性を高め、施策の着実な進展を図るため、庁内各課で取り組む施策をまとめ、狛江市多摩川利活用実施計画（以下、「本計画」という。）を策定しました。

2 計画期間

本計画の計画期間は、平成 29 年度から平成 31 年度までの 3 か年とします。

多摩川河川敷の利活用については、単年度で効果が発現するものではなく、各種調整を必要とする取組みが想定されます。3 か年の間にどのような流れで基本計画の方向性に基づく取組みが進められていくかを示しています。

3 計画のローリング

本計画に示した取組みは、基本計画で定めた方向性に基づくものであり、実施の必要性が高いものですが、詳細が未定な事業、予算計上までに調整が必要なものなどが含まれることから、事業に係る費用は掲載していません。また、本計画に基づいて予算要求や事業実施を行っていますが、多摩川関連問題庁内検討委員会において進捗管理とともに事業内容の見直しを毎年度行うことで、社会経済環境の変化にも弾力的に対応していきます。

また、基本計画の中間年度である平成 31 年度には、進捗状況の公表を行うとともに、基本計画の見直しを含め、検討を行います。

4 計画の構成

本計画は、基本計画で定められた3つの「基本方針」、5つの「ゾーン別の基本方針」の構成にあわせ、各方針に係る具体的な事業を記載しています。

また、基本計画には記載のない事業であっても市として多摩川で取り組む事業は「その他」として記載しています。

本計画で取り組む事業の一覧は以下のとおりです。なお、狛江市実行プラン※1に記載されている事業については『実行プラン』と事業名の後ろに付記しています。

なお、平成28年度までに事業が完了したものについては、末尾に別途記載しています。

事業一覧

～3つの基本方針～

| 施策名 | 事業名 | | 頁 |
|----------------------------|------------------------|-------|----|
| 1. 環境資源を活かした交流拠点の創出 | | | |
| ① アクセス性の向上 | 駐車場 | 実行プラン | 5 |
| | 土手の天端 | 実行プラン | 5 |
| ② イベント等での河川敷の活用 | 狛江古代カップ多摩川いかだレース | 実行プラン | 6 |
| | 花火大会 | 実行プラン | 6 |
| | 新たなイベントでの利活用 | | 6 |
| | こまえ初春まつりの実施 | 実行プラン | 7 |
| | 多摩川流域自治体交流イベントラリー | 実行プラン | 7 |
| ③ 施設等の整備による河川敷の活用 | 思いやりベンチの設置 | 実行プラン | 7 |
| ④ 民間事業者等の活用 | 民間事業者等の河川敷活用への支援 | | 8 |
| 2. 市民が誇りを持つ景観の確保 | | | |
| ① 市民参加による美化活動の推進 | 多摩川統一清掃 | | 9 |
| | アドプト団体への支援 | | 9 |
| ② 狛江市多摩川河川敷の環境を保全する条例の推進 | 条例に基づく指導 | | 9 |
| | 火気を使用した調理に関するガイドラインの検討 | | 10 |
| | 市民等の多様な主体による保全活動の検討 | | 10 |
| ③ 利用マナーの向上 | 利用者マナーの向上 | | 10 |

※1 狛江市実行プラン：「狛江市後期基本計画」重点プロジェクトとして位置付けられた施策の推進を目的とし、進捗管理・事業計画・指標に係る目標をまとめたもの

| 施策名 | 事業名 | 頁 |
|-----------------------------|--------------|----|
| 3. 豊かで親しみの持てる自然空間の保全 | | |
| ①豊かな自然空間の保全 | 五本松、桜並木の適正管理 | 11 |
| ②生物多様性の保全 | 生きもの調査 | 11 |
| | 外来植物駆除 | 12 |
| ③多摩川の豊かな自然環境の周知 | 五本松、桜並木のPR | 12 |

～5つのゾーン～

| 施策名 | 事業名 | 頁 |
|------------------------------|----------------------|----------|
| 1. 自然散策ゾーン | | |
| ①五本松周辺の景観保全 | 五本松、桜並木の適正管理〔再掲〕 | 13 |
| | 条例に基づく指導〔再掲〕 | 13 |
| ②周辺との一体的な活用 | 周辺のまちづくりを踏まえた利活用 | 13 |
| ③自然・歴史を楽しむ空間の整備 | 思いやりベンチの設置〔再掲〕 | 実行プラン 14 |
| | 水神前周辺の市有地と併せた利活用 | 14 |
| | 五本松、桜並木のPR〔再掲〕 | 14 |
| 2. 観光レクリエーションゾーン | | |
| ①車両アクセス、駐車環境整備 | 駐車場〔再掲〕 | 実行プラン 15 |
| ②利用環境整備 | トイレの整備及び案内板の設置 | 15 |
| | 河川敷の凹凸の整備 | 15 |
| ③憩い空間、自然を活かしたイベント空間の整備 | イベントの推進 | 16 |
| | 貸しボートの利活用 | 16 |
| 3. スポーツ・健康増進ゾーン | | |
| ①多摩川緑地公園グラウンド | 多摩川緑地公園グラウンドの適切な維持管理 | 17 |
| ②気軽にスポーツを楽しむ、健康増進に取り組める環境の整備 | 駐車場〔再掲〕 | 実行プラン 17 |
| | 健康増進に取り組める環境整備 | 17 |
| | 多種多様なスポーツを楽しめる環境整備 | 17 |
| ③スポーツイベント・教室の開催 | スポーツイベント・教室の開催 | 18 |
| 4. 広域レクリエーションゾーン | | |
| ①維持管理 | 定期的な清掃や除草 | 19 |
| | イベント等の活用 | 19 |
| | 運動ができるスペースとしての活用 | 19 |
| ②休憩施設の検討 | 休憩施設 | 20 |

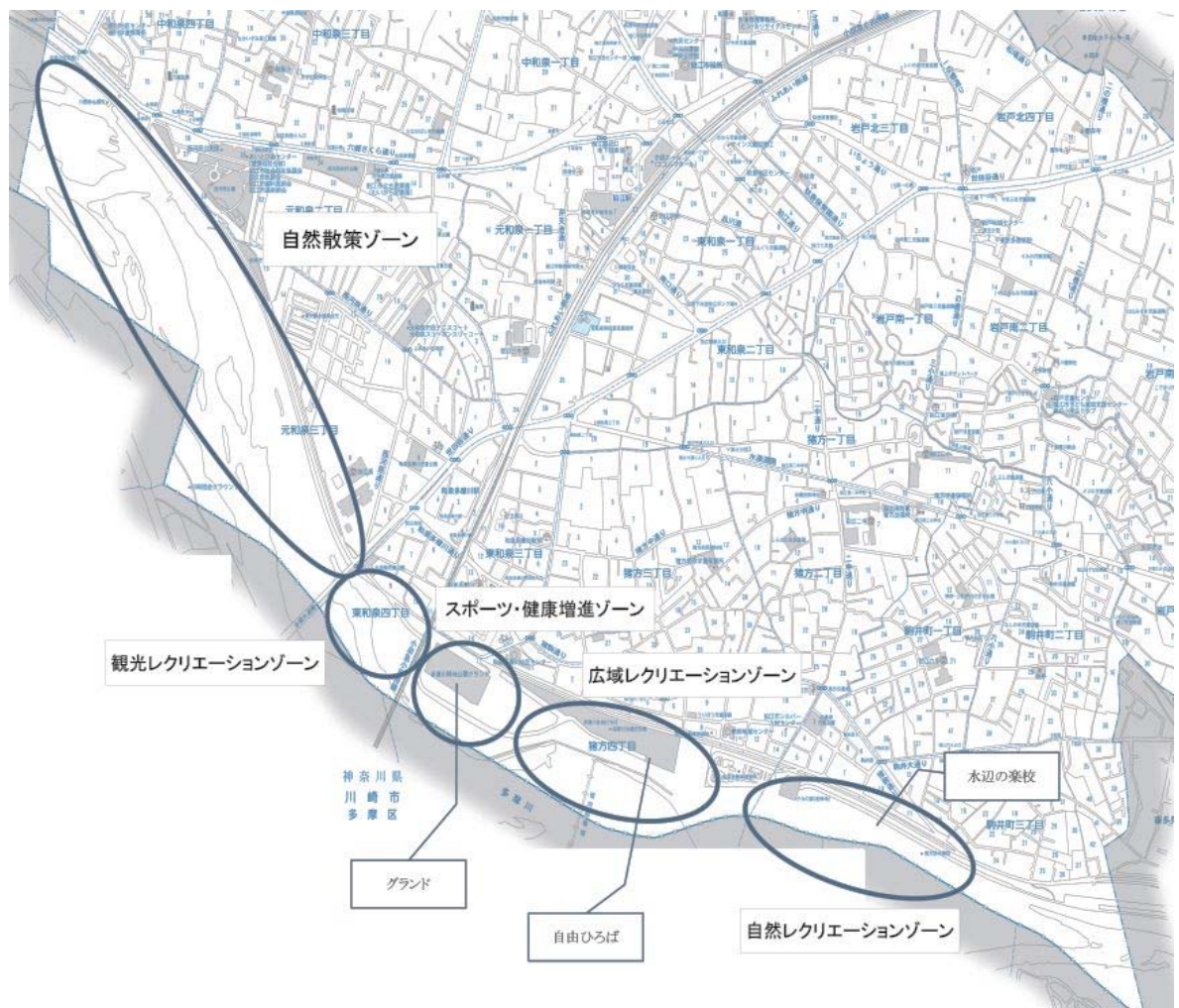
| 施策名 | 事業名 | 頁 |
|--------------------------|-----------------------|----|
| 5. 自然レクリエーションゾーン | | |
| ①水辺の楽校を活用した環境学習 機会の提供 | 保育園・小学校等での活用 | 21 |
| | イベント等での活用・周知・PR | 21 |
| ②生物多様性保全に向けた 施策の実施 | 生きもの調査〔再掲〕 | 21 |
| | 外来植物駆除〔再掲〕 | 21 |
| | 近隣区市との連携による生物多様性保全の推進 | 22 |

～その他～

| 事業名 | 頁 |
|------------|----------|
| 1 ドッグランの整備 | 実行プラン 23 |

～完了した事業～

| 事業名 | 頁 |
|----------------|----|
| 1 駐輪場のサイン表示 | 24 |
| 2 水辺の環境整備 | 24 |
| 3 西河原公園のトイレの整備 | 24 |
| 4 災害用ヘリポートの整備 | 24 |



ゾーン図

個別事業

本計画で取り組む事業の一覧は以下のとおりです。前半では、河川敷の全体に関わる基本方針に沿って事業を示し、後半ではゾーンに沿って記載しています。また、基本計画には記載のない事業であっても市として多摩川で取り組む事業は「その他」として記載しています。

～3つの基本方針～

1. 環境資源を活かした交流拠点の創出

多摩川は都会の中の貴重な環境資源であり、市民に限らず遠方の人もレジャーやレクリエーションで来訪する場所となっています。多くの人に訪れていただき、市民アンケートにおいて多くの人が残してほしいとご意見をいただいている自然を感じることができる場所としての魅力の向上を図り、また、多様なアクセス方法を確保するため以下の取組みを進めます。

① アクセス性の向上

| | | | |
|--------|-------------------------------------|--------------------|-------------------|
| 事業名 | 駐車場 | | 実行プラン |
| 主管課 | 環境政策課 | 関連課 | 地域活性課、道路交通課、社会教育課 |
| 取組み概要 | 河川敷利用者の利便性向上のために駐車場の試験運用を実施し、検証を行う。 | | |
| スケジュール | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 平成 31 年度 |
| | 試験運用による設置・検証 | 試験運用による設置及び本格実施の検討 | 検討結果を踏まえた対応 |

| | | | |
|--------|--|--------------|----------|
| 事業名 | 土手の天端 | | 実行プラン |
| 主管課 | 環境政策課、道路交通課 | 関連課 | - |
| 取組み概要 | 平成 27 年度に策定した「狛江市多摩川土手の天端の整備に関する考え方」に基づき、国と共に整備を進める。 | | |
| スケジュール | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 平成 31 年度 |
| | 環境性能舗装工事(元和泉水衝部)の実施 考え方に基づく国との協議 | 考え方に基づく国との協議 | 継続 |

②イベント等での河川敷の活用

| | | | |
|---------------|--|------------|----------|
| 事業名 | 狛江古代カップ多摩川いかだレース | | 実行プラン |
| 主管課 | 地域活性課 | 関連課 | - |
| 取組み概要 | これまでに引き続き、狛江古代カップ多摩川いかだレースを開催する。また、会場にて狛江ブランド野菜のPRを行い、市内農業の活性化を図る。 | | |
| スケジュール | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 平成 31 年度 |
| | いかだレースの実施 狛江ブランド野菜の PR | 継続 | 継続 |

| | | | |
|---------------|---|------------|----------|
| 事業名 | 花火大会 | | 実行プラン |
| 主管課 | 地域活性課 | 関連課 | - |
| 取組み概要 | 次回の開催に向けて、平成 27 年度に開催した「狛江市民花火大会」の結果を振り返るとともに、充実したものとなるよう実現に向けた検討を行う。 | | |
| スケジュール | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 平成 31 年度 |
| | 開催準備 | 実施 | 開催検討 |

| | | | |
|---------------|---|------------|----------|
| 事業名 | 新たなイベントでの利活用 | | |
| 主管課 | 地域活性課、環境政策課、社会教育課 | 関連課 | - |
| 取組み概要 | パブリックコメントで頂いたイベントの案など、河川敷で開催が可能なイベントを整理し、河川敷使用のルール等を周知する。 | | |
| スケジュール | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 平成 31 年度 |
| | 河川敷使用のルールの周知 イベント案の検討 | 継続 | 継続 |

| | | | |
|---------------|--|------------|----------------|
| 事業名 | こまえ初春まつりの実施 | | 実行プラン |
| 主管課 | 秘書広報室 | 関連課 | 安心安全課 社会教育課 |
| 取組み概要 | 毎年1月の第2日曜日に、市内3か所で開催されていた多摩川ロードレース、狛江市消防団出初式、どんど焼きを1つの会場に集約し、さらに食べる・遊ぶの要素を取り入れて、多くの来場者が見込める狛江の冬の重点イベントとして実施していく。 | | |
| スケジュール | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 |
| | 実施 | 継続 | 継続 |

| | | | |
|---------------|---|------------|--------|
| 事業名 | 多摩川流域自治体交流イベントラリー | | 実行プラン |
| 主管課 | 政策室 | 関連課 | 地域活性課 |
| 取組み概要 | 複数の自治体において、スタンプラリー形式によるイベントを実施することで、各イベントへの集客効果を上げ、地域住民の交流を通じた効果的な地域の魅力の発信を行う。狛江市では例年狛江古代カップ多摩川いかだレースが対象イベントとなっている。 | | |
| スケジュール | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 |
| | 多摩川流域自治体交流イベントラリーの開催 | 継続 | 継続 |

③施設等の整備による河川敷の活用

| | | | |
|---------------|---|------------|--------|
| 事業名 | 思いやりベンチの設置 | | 実行プラン |
| 主管課 | 環境政策課 | 関連課 | 道路交通課 |
| 取組み概要 | 河川敷の思いやりベンチ設置場所を検討するとともに、寄附者を広報等で募集し、利用者が休憩できる施設として設置を推進していく。 | | |
| スケジュール | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 |
| | 新たな設置場所の検討 制度のPR | 継続 | 継続 |

④民間事業者等の活用

| | | | |
|---------------|--|------------|----------|
| 事業名 | 民間事業者等の河川敷活用への支援 | | |
| 主管課 | 地域活性課、環境政策課 | 関連課 | - |
| 取組み概要 | 河川敷における民間事業者等を活用した新たな事業展開を推進する。 また、河川敷の映像作品等を活用し、市のPRを行う。 | | |
| スケジュール | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 平成 31 年度 |
| | 撮影に関する窓口の実施 民間事業者の市民向け無料講座の共催 河川敷使用のルールの周知 | 継続 | 継続 |

2. 市民が誇りを持つ景観の確保

多摩川は映画・テレビの撮影等でも利用されるなど、多様な景観資源を兼ね備えています。私たちが誇ることのできる景観として、美化活動や環境保全活動などを行政とともに市民自らが推進することにより、きれいな多摩川として保全していくため以下の取組みを進めます。

①市民参加による美化活動の推進

| | | | |
|---------------|---|------------|----------|
| 事業名 | 多摩川統一清掃 | | |
| 主管課 | 環境政策課 | 関連課 | - |
| 取組み概要 | 多摩川統一清掃を引き続き実施し、河川環境を保全していく。清掃に併せて、多摩川の自然を知ってもらう取組みを行う。 | | |
| スケジュール | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 平成 31 年度 |
| | 実施 | 継続 | 継続 |

| | | | |
|---------------|--|------------|----------|
| 事業名 | アドプト団体への支援 | | |
| 主管課 | 環境政策課 | 関連課 | - |
| 取組み概要 | アドプト活動団体を支援し、拡充を図ることで、市民参加による河川敷における美化活動を推進する。 | | |
| スケジュール | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 平成 31 年度 |
| | アドプト制度の周知、活動団体の募集 | 継続 | 継続 |

②狛江市多摩川河川敷の環境を保全する条例の推進

| | | | |
|---------------|---|------------|----------|
| 事業名 | 条例に基づく指導 | | |
| 主管課 | 環境政策課 | 関連課 | - |
| 取組み概要 | 条例に基づく火気を使用した調理や花火等の禁止を徹底し、河川環境を保全していく。 | | |
| スケジュール | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 平成 31 年度 |
| | 条例の周知、条例に基づく指導 | 継続 | 継続 |

| | | | |
|--------|---|---------------------------------------|-----------|
| 事業名 | 火気を使用した調理に関するガイドラインの検討 | | |
| 主管課 | 環境政策課 | 関連課 | - |
| 取組み概要 | 条例に定められた火気を使用した調理の例外規定のガイドラインを策定し、新たな利活用に繋げていく。 | | |
| スケジュール | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 平成 31 年度 |
| | 桜まつりに併せて一部エリアでの禁止解除の試験実施 | 桜まつりに併せて一部エリアでの禁止解除の試験実施 ガイドラインの検討 | ガイドラインの策定 |

| | | | |
|--------|--|----------|---------------------|
| 事業名 | 市民等の多様な主体による保全活動の検討 | | |
| 主管課 | 環境政策課 | 関連課 | - |
| 取組み概要 | 現在、条例に基づき警備員を配置しているが、条例の周知も図られていることから、市民等の多様な主体による保全活動を検討する。 | | |
| スケジュール | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 平成 31 年度 |
| | 市民等の多様な主体による保全活動の検討 | 継続 | 市民等の多様な主体による保全活動の実施 |

③利用マナーの向上

| | | | |
|--------|--------------------------------------|----------|----------|
| 事業名 | 利用者マナーの向上 | | |
| 主管課 | 地域活性課、環境政策課、社会教育課 | 関連課 | - |
| 取組み概要 | 誰もが河川敷を利用できるよう、利用者マナーを向上させる。 | | |
| スケジュール | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 平成 31 年度 |
| | 啓発活動の充実 利用者への周知 グランド常駐管理者の設置検討 | 継続 | 継続 |

3. 豊かで親しみの持てる自然空間の保全

多摩川は貴重な水と緑のオープンスペースとして多くの人に親しまれています。環境資源としての重要性を再認識し、市の都市計画マスタープランや環境基本計画で位置付けのある「水と緑のネットワーク」、「水辺の景観軸」としての機能を果たすよう今ある自然を守るとともに、生物多様性の保全を図ることにより、さらに市民が親しみを持てる豊かな自然空間の確保するため以下の取組みを進めます。

①豊かな自然空間の保全

| | | | |
|--------|--|--------|---------|
| 事業名 | 五本松、桜並木の適正管理 | | |
| 主管課 | 環境政策課、道路交通課 | 関連課 | - |
| 取組み概要 | 多摩川の貴重な景観を保全し、魅力を高めていくために、五本松の害虫駆除を行う。 また、平成27年度に実施した桜の樹木診断結果に基づき、枯木の剪定、伐採及び植替えを実施していく。 | | |
| スケジュール | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 |
| | 五本松害虫駆除 桜の剪定 | 桜の剪定 | 五本松害虫駆除 |

②生物多様性の保全

| | | | |
|--------|--|--------|--------|
| 事業名 | 生きもの調査 | | |
| 主管課 | 環境政策課 | 関連課 | - |
| 取組み概要 | 多摩川の貴重な生態系を保全するため生きもの調査（夏季・冬季）を実施する。また、多摩川の生物の生息状況を公表することで市民に理解を深めて頂く。 | | |
| スケジュール | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 |
| | 多摩川生きもの調査会の実施・結果の公表 | 継続 | 継続 |

| | | | |
|---------------|---|------------|----------|
| 事業名 | 外来植物駆除 | | |
| 主管課 | 環境政策課 | 関連課 | - |
| 取組み概要 | 多摩川の貴重な生態系を保全していくために、外来植物を定期的に駆除する仕組みを構築する。 | | |
| スケジュール | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 平成 31 年度 |
| | 定期的な外来植物駆除作業の実施 市民参加による駆除の実施 | 継続 | 継続 |

③多摩川の豊かな自然環境の周知

| | | | |
|---------------|---|------------|----------|
| 事業名 | 五本松、桜並木の PR | | |
| 主管課 | 環境政策課、道路交通課 | 関連課 | - |
| 取組み概要 | 多摩川の貴重な景観を市内外の多くの方に知って頂くために、広報こまえ・こまえ eco 通信・市ホームページ・SNS を活用し、周知していく。 | | |
| スケジュール | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 平成 31 年度 |
| | 広報こまえ・こま eco 通信・市ホームページ・SNS による PR 撮影支援 | 継続 | 継続 |

～5つのゾーン～

1. 自然散策ゾーン

五本松や多摩川沿いに続く桜並木など自然風景を楽しむ空間として、また、親しみのある自然の保全を推進していく空間として以下の取組みを進めます。

①五本松周辺の景観保全

| | |
|-----|------------------------|
| 事業名 | 五本松、桜並木の適正管理（再掲）11P 参照 |
|-----|------------------------|

| | |
|-----|-------------------|
| 事業名 | 条例に基づく指導（再掲）9P 参照 |
|-----|-------------------|

②周辺との一体的な活用

| | | | |
|--------|---|----------|-----------------|
| 事業名 | 周辺のまちづくりを踏まえた利活用 | | |
| 主管課 | 環境政策課 | 関連課 | まちづくり推進課 整備課 |
| 取組み概要 | 市が進める周辺のまちづくり及び「狛江市和泉多摩川緑地都立公園誘致推進構想」を踏まえ、状況に応じた利活用を検討する。 | | |
| スケジュール | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 平成 31 年度 |
| | 周辺地域の動向の確認 利活用の検討 | 継続 | 継続 |

③自然・歴史を楽しむ空間の整備

| | |
|------------|---------------------|
| 事業名 | 思いやりベンチの設置（再掲）7P 参照 |
|------------|---------------------|

| | | | |
|---------------|--------------------------|------------|----------|
| 事業名 | 水神前周辺の市有地と併せた利活用 | | |
| 主管課 | 環境政策課 | 関連課 | 整備課 |
| 取組み概要 | 水神前周辺にある市有地と併せた利活用を検討する。 | | |
| スケジュール | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 平成 31 年度 |
| | 利活用の研究 利活用の検討 | 利活用の検討 | 継続 |

| | |
|------------|-----------------------|
| 事業名 | 五本松、桜並木の PR（再掲）12P 参照 |
|------------|-----------------------|

2. 観光レクリエーションゾーン

既存の観光資源を活用するとともに、普段から気軽に訪れることができる憩いの空間とします。また、各種イベントを実施できる汎用性のある空間として以下の取組みを進めます。

①車両アクセス、駐車環境整備

| | |
|------------|--------------|
| 事業名 | 駐車場（再掲）5P 参照 |
|------------|--------------|

②利用環境整備

| | | | |
|---------------|--|------------|----------|
| 事業名 | トイレの整備及び案内板の設置 | | |
| 主管課 | 地域活性課、環境政策課 | 関連課 | 施設課 |
| 取組み概要 | 和泉多摩川地区センターの建替に併せ、河川敷利用者も利用可能なトイレを整備。案内板の設置により利便性を高める。 | | |
| スケジュール | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 平成 31 年度 |
| | 公衆トイレ使用開始 案内板設置 | - | - |

| | | | |
|---------------|--|------------|----------|
| 事業名 | 河川敷の凹凸の整備 | | |
| 主管課 | 環境政策課 | 関連課 | - |
| 取組み概要 | 河川敷の利用可能性を高めるため、現在の凹凸のある状況を平坦化する整備を検討する。 | | |
| スケジュール | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 平成 31 年度 |
| | ドッグラン整備に伴う 整備 | - | - |

③憩い空間、自然を活かしたイベント空間の整備

| | | | |
|---------------|--|------------|----------|
| 事業名 | イベントの推進 | | |
| 主管課 | 地域活性課、環境政策課 | 関連課 | - |
| 取組み概要 | 河川敷でのイベント関係による利用拡大を図るため、河川敷使用のルール等を周知する。 | | |
| スケジュール | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 平成 31 年度 |
| | 河川敷使用のルールの周知 | 継続 | 継続 |

| | | | |
|---------------|---|------------|----------|
| 事業名 | 貸しボートの利活用 | | |
| 主管課 | 地域活性課 | 関連課 | - |
| 取組み概要 | 既存の観光資源である貸しボート業を活性化させるために観光に関するホームページの充実など周知や検討を進める。 | | |
| スケジュール | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 平成 31 年度 |
| | 観光に関するホームページ充実 利活用策の検討 | 継続 | 継続 |

3. スポーツ・健康増進ゾーン

自然の中でスポーツを楽しめる場として整備し、多くの市民で賑わう空間として以下の取組みを進めます。

①多摩川緑地公園グランド

| | | | |
|---------------|--|------------|----------|
| 事業名 | 多摩川緑地公園グランドの適切な維持管理 | | |
| 主管課 | 社会教育課 | 関連課 | - |
| 取組み概要 | 市民がスポーツに親しむ貴重な場である多摩川緑地公園グランドの定期的な整備を実施し、適正な維持管理を行う。 | | |
| スケジュール | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 平成 31 年度 |
| | 定期的な整備の実施 | 継続 | 継続 |

②気軽にスポーツを楽しみ、健康増進に取り組める環境の整備

| | |
|------------|--------------|
| 事業名 | 駐車場（再掲）5P 参照 |
|------------|--------------|

| | | | |
|---------------|--|------------|----------|
| 事業名 | 健康増進に取り組める環境整備 | | |
| 主管課 | 社会教育課 | 関連課 | - |
| 取組み概要 | 利用者の利便性を向上し、より活用していただくため、トイレ等周辺施設の案内を実施する。 | | |
| スケジュール | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 平成 31 年度 |
| | トイレ等、周辺施設の周知 | 継続 | 継続 |

| | | | |
|---------------|------------------------------------|------------|----------|
| 事業名 | 多種多様なスポーツを楽しめる環境整備 | | |
| 主管課 | 社会教育課 | 関連課 | - |
| 取組み概要 | 河川敷を活用し、多種多様なスポーツ利用を可能とするために調整を行う。 | | |
| スケジュール | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 平成 31 年度 |
| | 河川敷におけるスポーツ利用の関係機関との調整 | 継続 | 継続 |

③スポーツイベント・教室の開催

| | | | |
|---------------|---|------------|----------|
| 事業名 | スポーツイベント・教室の開催 | | |
| 主管課 | 社会教育課 | 関連課 | - |
| 取組み概要 | スポーツ利用を促進するために、イベント等実施におけるルールの整理を行うほか、スポーツ教室を企画・実施する。 | | |
| スケジュール | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 平成 31 年度 |
| | イベント等開催への協力 スポーツ教室の実施 | 継続 | 継続 |

4. 広域レクリエーションゾーン

約 8,000 m²ある多摩川自由ひろばを中心に広いスペースを活かした運動施設としての利用、各種イベント、撮影等の利用を推進し、誰もが集うことのできる空間として以下の取組みを進めます。

①維持管理

| | | | |
|---------------|--|------------|----------|
| 事業名 | 定期的な清掃や除草 | | |
| 主管課 | 環境政策課 | 関連課 | - |
| 取組み概要 | 多様な利用者の利便性を向上するために、定期的に除草を行い、適正に維持管理する。 また、市民に愛着を持ってもらい管理が進むよう引き続き、アドプト活動団体を募集する。 | | |
| スケジュール | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 平成 31 年度 |
| | 除草の実施 アドプト制度の周知、 活動団体の募集 | 継続 | 継続 |

| | | | |
|---------------|--|------------|----------|
| 事業名 | イベント等の活用 | | |
| 主管課 | 環境政策課 | 関連課 | - |
| 取組み概要 | 河川敷使用のルールの実用を行うほか民間事業者の市民向け無料講座を共催するなど、多様な利用を促進する。 | | |
| スケジュール | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 平成 31 年度 |
| | 河川敷使用のルールの周知 民間事業者の市民向け無料講座の共催 | 継続 | 継続 |

| | | | |
|---------------|--|------------|----------|
| 事業名 | 運動ができるスペースとしての活用 | | |
| 主管課 | 環境政策課 | 関連課 | - |
| 取組み概要 | 運動に関する利用を促進するために、利用制限の緩和を検討し、新たな利用条件を整理する。 | | |
| スケジュール | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 平成 31 年度 |
| | ボール遊びのルールの運用 | 継続 | 継続 |

②休憩施設の検討

| | | | |
|---------------|------------------------------|------------|----------|
| 事業名 | 休憩施設 | | |
| 主管課 | 環境政策課 | 関連課 | - |
| 取組み概要 | 利用者の利便性を向上するために、休憩施設の設置を検討する | | |
| スケジュール | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 平成 31 年度 |
| | 設置施設の検討 関係機関との協議 | 設置 | - |

5. 自然レクリエーションゾーン

水辺の楽校など多摩川を環境学習の場として活用することにより、子どもたちが身近に自然と触れ合うことのできる空間とします。また、生物多様性保全を進めることにより、河川環境の保全を図るため以下の取組みを進めます。

①水辺の楽校を活用した環境学習機会の提供

| | | | |
|---------------|--|------------|---------------|
| 事業名 | 保育園・小学校等での活用 | | |
| 主管課 | 環境政策課 | 関連課 | 児童青少年課 指導室 |
| 取組み概要 | 水辺の楽校を環境学習の場としてさらに活用するため保育園、学童保育所、小学校での児童による利用を促進する。 | | |
| スケジュール | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 平成 31 年度 |
| | 保育園等での活用 | 継続 | 継続 |

| | | | |
|---------------|---|------------|----------|
| 事業名 | イベント等での活用・周知・PR | | |
| 主管課 | 環境政策課 | 関連課 | - |
| 取組み概要 | 広報こまえ・SNS の活用、多摩川流域ふるさと交流ネットワーク新聞などにより水辺の楽校や様々なイベントを広く周知し、多摩川への関心を高めてもらう。 | | |
| スケジュール | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 平成 31 年度 |
| | 広報こまえ、ホームページ及び SNS で周知 多摩川流域ふるさと交流ネットワーク新聞発行 | 継続 | 継続 |

②生物多様性保全に向けた施策の実施

| | |
|------------|------------------|
| 事業名 | 生きもの調査（再掲）11P 参照 |
|------------|------------------|

| | |
|------------|------------------|
| 事業名 | 外来植物駆除（再掲）12P 参照 |
|------------|------------------|

| | | | |
|---------------|---|------------|----------|
| 事業名 | 近隣区市との連携による生物多様性保全の推進 | | |
| 主管課 | 環境政策課 | 関連課 | - |
| 取組み概要 | 多摩川で繋がる流域自治体と連携し、広域での生物多様性保全活動の実施を検討する。 | | |
| スケジュール | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 平成 31 年度 |
| | 狛江市生物多様性地域戦略の内容等検討 | 継続 | 策定 |

～その他～

| | | | |
|--------|--|---------------|-------------|
| 事業名 | ドッグランの整備 | | 実行プラン |
| 主管課 | 環境政策課 | 関連課 | |
| 取組み概要 | 人と人、人と犬が互いに気持ちよく、楽しく過ごせる空間の創出を目的としてドッグランを設置する。 | | |
| スケジュール | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 平成 31 年度 |
| | 試験運用・検証 | 試験運用及び本格実施の検討 | 検討結果を踏まえた対応 |

～完了した事業～

平成 26 年 8 月の基本計画策定から取組みを進め、事業が完了したものを記載しています。

| | | | |
|--------------|---------------------------------|------------|---|
| 事業名 | 駐輪場のサイン表示 | | |
| 主管課 | 環境政策課、道路交通課 | 関連課 | - |
| 取組み結果 | 世田谷通り高架下駐輪場の案内板を市道 543 号線に設置した。 | | |

| | | | |
|--------------|--|------------|---|
| 事業名 | 水辺の環境整備 | | |
| 主管課 | 環境政策課 | 関連課 | - |
| 取組み結果 | 国土交通省京浜河川事務所による元和泉地区低水護岸整備工事に伴う水辺環境の変化に対し、水辺の賑わいを目指すために生息環境の復元等に配慮した整備を要望した。 | | |

| | | | |
|--------------|-------------------------|------------|---|
| 事業名 | 西河原公園のトイレの整備 | | |
| 主管課 | 環境政策課、整備課 | 関連課 | - |
| 取組み結果 | 西河原公園内のトイレを誰でもトイレに改修した。 | | |

| | | | |
|--------------|--|------------|-------|
| 事業名 | 災害時用ヘリポートの整備 | | |
| 主管課 | 安心安全課 | 関連課 | 環境政策課 |
| 取組み結果 | 多摩川緑地公園グラウンドについて、災害時におけるヘリコプターの利活用等を想定した飛行場外離着陸場を整備するとともに、東京都から救出及び救助の活動拠点として指定を受けた。 | | |

登録番号(刊行物番号)
H29-31

狛江市多摩川利活用実施計画
(平成29~31年度)

平成29年9月

発行 狛江市
編集 狛江市環境部環境政策課
狛江市和泉本町一丁目1番5号
電話 03(3430)1111
印刷 庁内印刷
頒布価格 30円